

行政改革推進委員会（第1回）における主な意見と意見に対する考え方

1 行政評価に係る外部評価について

No.	委員会での意見	意見に対する考え方【関係所管課】
1	■市民満足度調査結果の平均値の算出方法について、「5・2・0・－2・－5」ではなく「5・4・3・2・1」とするのが一般的ではないか。	■「5・4・3・2・1」の5段階の得点付けが一般的である点を踏まえて、次回の市民満足度調査においては、算出方法を再度検討する。【企画政策課】
2	■外部評価の対象施策の抽出方法について、重要度の平均値から満足度の平均値を引いたものが何を指すのかよく分からない。 市民が感じる重要度も大切な観点だが、市が考える施策の重要度も大切な観点であり、重点施策に対する市民の満足度が低い場合には問題があると考えられることから、外部評価の対象施策の抽出にあたって、政策内の優先順位の付け方をもう一度検討すべき。	■施策の自己評価については、第2次総合計画の37施策全てを対象に実施しているが、平成29年度の第1回行政改革推進委員会では、その中から今後の施策の展開に向けて、特に行政改革推進委員会での意見聴取が必要な施策を外部評価の対象として抽出した。 外部評価の対象施策の抽出にあたっては、市が考える施策の重要度の観点も勘案しているところではあるが、来年度の行政改革推進委員会では頂いたご意見を踏まえて、外部評価の対象施策の抽出方法を再度検討する。【企画政策課】
3	■市民満足度調査における「どちらともいえない」という回答は、やるべきサービスはきちんとやっているとも考えられるので、決して悪いことではない。やるべきことをきちんとやっていることに加えて、重要な政策をどう遂行していくのかということも大きな目的であることから、厳しいだけの評価ではなく、きちんと然るべき評価をすべき。	■頂いたご意見を踏まえて、施策の取組結果に対してより客観的な自己評価に努めていく。【全庁】

2 「施策101 治水対策の推進」について

No.	委員会での意見	意見に対する考え方【関係所管課】
4	■達成度指標の「大雨でも自宅の浸水の心配がないと思う市民の割合」について、実際に浸水想定区域がどのくらいあって、それについて市民が心配しすぎなのか、そうではないのかということで、今後の評価や実際の周知などにつながるようにしていただきたい。	■達成度指標の「大雨でも自宅の浸水の心配がないと思う市民の割合」については、行政改革推進委員会の中でもお答えしたとおり、市が重点施策として現在進めている取組内容の情報を積極的に発信し、市民の皆様を知っていただくことにより、数値の上昇を図りたいと考えている。 頂いたご意見を踏まえて、浸水想定区域に係るアンケートのクロス集計の実施などにより、今後の評価等につなげることに努めていく。【土木課・上下水道課】
5	■達成度指標の「大雨でも自宅の浸水の心配がないと思う市民の割合」について、いつ何が起きるか分からないので、危機感のある程度持ってもらうことが必要であり、あまり安心されると危険な側面もあるのではないか。	■達成度指標については、第2次総合計画の各施策単位で設定した「目指す姿」にどこまで近づけているかを測るため、原則として実現すべき成果に係る数値目標を、達成状況の検証を多角的に行うために複数設定している。
6	■達成度指標の「大雨でも自宅の浸水の心配がないと思う市民の割合」について、水害が起きる可能性は0%にはならないので、それを増加させることは難しいと思うが、自宅の危険度がどの程度か把握していれば、実際に水害が起きた場合の対応も早くとれると思うので、「自宅の危険度を認知しているかどうか」という指標を設定してはどうか。	頂いたご意見を踏まえて、平成32年度から始まる第2次総合計画の後期基本計画の策定の際には、「自宅の危険度を認知しているかどうか」等の指標についても、数値把握が可能かどうかという点なども勘案しながら設定を検討する。【土木課・上下水道課】

No.	委員会での意見	意見に対する考え方【関係所管課】
7	■浸水する可能性が高い場所は分かっていると思うので、そういったところに確実に手を打っているということを具体的に示していくことが、まず第一に必要。その上で、全体的な話としてゲリラ豪雨への対処をしていくということを段階的に示していくことで、危険性の心配がなく、安心できる市民の方が増えていくという形になっていくことが望ましい。	■本市は庄内川・新川・五条川などに囲まれた立地であり、降雨時には排水ポンプ等による強制排水が必要な地域が市域の大半を占めていることから、下流や標高の低い地区では特に内水はん濫（都市浸水）のリスクは高い状況である。これに対して、内水はん濫の発生を防ぐべき目標の降雨量を時間雨量 63mm（おおむね 10 年に 1 回程度）と設定して、排水ポンプ場や雨水排水管、雨水調整池などの整備を進めているところである。
8	■実際過去に浸水被害があった場所は明確になっていると思うので、その場所について改善が図られているということが、マップ上などで「見える化」されて、明確に示されることで、市民の皆様が安心していただけるのではないかと。	これらの取組状況や、内水はん濫における浸水予想図などはホームページ上で公表を行っているが、より「見える化」を進めるために、市民が分かりやすい情報発信に努めていく。【土木課・上下水道課】
9	■達成度指標の「床上浸水被害の発生件数」について、実際に起きてみないと分からないので、指標として適当なのか。	■達成度指標の「床上浸水被害の発生件数」については、発生件数ゼロを目指していくことが大きな目標ではあるが、頂いたご意見のとおり、実際に起きてみないと分からない部分もあることから、第 2 次総合計画の後期基本計画の策定の際には再度指標を検討する。【土木課・上下水道課】

3 「施策 202 子育て支援の充実」について

No.	委員会での意見	意見に対する考え方【関係所管課】
10	■「子育て支援の充実」は市のメインでいこうという分野であると思うが、目玉となるようなものについて、どのように考えているのか。	■市民に子育て情報を様々な方法で分かりやすく発信する「キヨスマ」については、行政改革推進委員会の中でもお答えしたとおり、本市の特徴的な事業である。今後子育て支援サービスの充実とあわせて、「キヨスマ」を効果的に活用していくことにより、相乗的に施策の満足度向上に努めていく。【子育て支援課】
11	■民間の誘致に関してはどのように考えているのか。	■民間の誘致については、行政改革推進委員会の中でもお答えしたとおり、現在平成 32 年度の開設に向けて、一場保育園の民営認定こども園化を進めている。民間活力の有効活用の観点からは、行財政改革推進プランの中でも重点改革項目として位置付けており、今後も活用可能性と効果の多角的な検証に努めていく。【子育て支援課】
12	■決まり事というのは市民にも守ってもらう必要があるもので、そういうことをきっちり決めて進んでいくという行政のやり方を、市民はもっと理解して、協力できるような関係になると良い。	■第 2 次総合計画においては、市民の市政に対する関心や参加の意識を高めることを目指しており、積極的な市政情報の発信とともに、市政に関する市民の意向把握に引き続き努めていく。【子育て支援課（全庁）】
13	■目標値に対する実績値の評価において「保育園・幼稚園の利用者満足度は高い水準にあるが、更なる向上に向けて、保護者とのコミュニケーションを増やすなど、保護者との信頼関係の構築に取り組む余地がある」とあるが、この余地というのが現状の保育士数や勤務時間等の中でプラスアルファでやっていけるものなのか、それともそこにもう少し人が必要なのか、「余地がある」という言葉だけで終わらせてしまうと今後につながっていきにくいのではないかと。	■No.3 の意見と共通する部分であり、今後のより良い施策の展開につなげていくための評価である点に鑑みて、施策の取組結果に対してより客観的な自己評価に努めていく。また、その評価結果を踏まえて、施策の評価と今後の方向性においては、「目指す姿」の実現や達成度指標の目標値の達成に向けて、今後どの部分に対して、どのように注力していくのかを明確に示すことができるように努めていく。【子育て支援課（全庁）】
14	■自分たちが「より頑張っている、やっている」ということに関しては、評価もきっちりとして良いのではないかと。それを踏まえてもっとやるということであれば、そこに対して注力するという方策で、次につなげていくということをした方が良いのではないかと。	

No.	委員会での意見	意見に対する考え方【関係所管課】
15	<p>■目標値に対する実績値の評価において「保育サービス・子育て支援サービスの充実を求める意見も多く見られる」とあるが、公の役割として清須市がどのサービス水準を求めている、市民満足度調査における意見が妥当なのかどうかという選別を行っていくべきではないか。</p> <p>そういった意見を受けて「取り組むべきである」とするのか、「そこはやはり家庭の領域である」というところで抑えておくのか、あまりにもニーズを全部受けますよというやり方はちょっと違うのではないか。</p>	<p>■市が今後の施策展開を検討する際には、市民満足度調査等により把握した市民意向だけではなく、公の役割としての必要性やサービス水準の妥当性、国・県等の状況など、様々な要素を勘案して総合的に判断をしているところではあるが、今後のご意見を頂いた点についても留意をしていく。【子育て支援課（全庁）】</p>

4 「施策 303 高齢者福祉の充実」について

No.	委員会での意見	意見に対する考え方【関係所管課】
16	<p>■各事業の施策への寄与度において、「シルバー人材センターに対する支援を行うことにより、高齢者の生きがいづくりや社会参加を推進することができた」とあるが、補助をしているからそれで良いというふうにも読めてしまう。</p>	<p>■行政改革推進委員会の中でもお答えしたとおり、会員のうち91.9%の方は就業している状況であり、このことなどから高齢者福祉の充実に寄与しているという判断をしているところではあるが、頂いたご意見を踏まえて、団体補助等についてはその団体の活動状況も含めて評価を行う。【高齢福祉課（全庁）】</p>
17	<p>■施策の評価と今後の方向性において、官学連携による介護予防施策や地域ケア会議のことが書かれているが、これらを通じて、市の方では高齢者福祉の充実に向けて本当によく取り組んでいると思うので、市民満足度も高くなっていると思う。</p>	<p>■頂いたご意見を踏まえて、今後も引き続き高齢者福祉の充実に努めていく。【高齢福祉課】</p>

5 「施策 402 道路・橋梁の整備・適正管理の推進」について

No.	委員会での意見	意見に対する考え方【関係所管課】
18	<p>■市内には道路の幅に対して交通量が非常に多い道路がいくつかあるので、そういう危険な道路なんかをピックアップして、スピードとか交通量を抑えるような施策を考えていただきたい。</p>	<p>■交通安全対策が必要な箇所への対策はこれまでも取り組んでいるところだが、引き続き国・県や警察等と連携して、一体的に交通安全対策の推進に努めていく。【防災行政課・土木課】</p>
19	<p>■子どもたちの通学路について、交通安全と生活安全の両面で、安心して通学ができる道路の確保に努めていただきたい。</p>	<p>■カラー舗装の実施など、通学路の交通安全対策はこれまでも取り組んでいるところだが、引き続き交通安全と生活安全の両面で、安心して通学ができる道路の確保に努めていく。【土木課・学校教育課】</p>

6 「施策 501 観光の振興」について

No.	委員会での意見	意見に対する考え方【関係所管課】
20	<p>■来年愛知県の大型観光キャンペーン「デスティネーションキャンペーン」が開催され、その翌年には反動が出るのが予想されるが、目標値の達成に向けてどのような対策を考えているのか。</p>	<p>■キリンビール名古屋工場と連携したスタンプラリーについて、「デスティネーションキャンペーン」に合わせて実施するとともに、キャンペーン後の反動対策の目玉として、継続的に実施していくための内容検討を進める。</p> <p>また、10月から清洲城とその周辺にAR（拡張現実）を活用した「おもしろ写真」の撮影スポットを3か所設置しており、その反響を見ながら、新たな事業の実施を含めてキャンペーン翌年の反動対策を検討する。【産業課】</p>

No.	委員会での意見	意見に対する考え方【関係所管課】
21	<p>■施策の評価と今後の方向性において、訪日外国人向けの施策や、清洲城の施設長寿命化計画策定とあわせた賑わいの創出のことが書かれているが、具体的な内容が見えない。</p>	<p>■訪日外国人向けの施策については、引き続き訪日外国人向けのツアー造成を旅行会社に働きかけていくとともに、県内の宿泊施設への多言語対応リーフレットの設置依頼を積極的に進める。</p> <p>清洲城の施設長寿命化計画策定とあわせた賑わいの創出については、行政改革推進委員会の中でもお答えしたとおり、平成32年度にリニューアルする清洲貝殻山貝塚資料館やキリンビール名古屋工場などと連携した観光振興の展開を軸とする中で、ターゲットとする層の設定なども含めて、観光資源としての清洲城の活用方法を検討する。【産業課】</p>
22	<p>■清洲城だけではなく、市内には本物の歴史資源がたくさんあるので、そこをもっとアピールする必要があるのではないかと。</p>	<p>■No.21の考え方と同様に、頂いたご意見を踏まえて、市内にある本物の歴史資源と連携した観光振興の展開を検討する。【産業課】</p>
23	<p>■もっと名古屋城との連携がとれないか。</p>	<p>■名古屋城などの市域を越えた近隣の観光資源との連携も重要であると認識しており、これまでも連携した取り組みを行っているところではあるが、頂いたご意見を踏まえて、引き続き連携の中で本市の資源を生かすことに努めていく。【産業課】</p>
24	<p>■事務事業評価の結果において、「観光協会事業費補助金」では1,800千円の補助に対して、おみやげ品販売額は対前年度で約1,000千円しか増えていないというふうにも見えるので、他にも「こういうところで寄与している」ということがあれば、それを施策への寄与度のところに書くべきである。</p> <p>今書いてある情報だけで施策への寄与度を見ると、もうちょっと厳しく評価をしても良いのではないかと感じる。</p>	<p>■頂いたご意見を踏まえて、事務事業評価にあたっては事業費と活動指標の関係性や、活動指標だけでは捕捉できない施策への寄与の状況（新規お土産品の開発、観光ルートマップの作成など）に留意して評価を実施する。【産業課（全庁）】</p>
25	<p>■観光誘客のためのリーフレットについて、評価の結果を見ると、配布場所や配布方法の検討をするということであるが、リーフレット自体も検討した方が良いのではないかと、この資料だけだと読み取れるのではないかと。</p>	<p>■リーフレットの内容はこれまでも工夫をしているところではあるが、頂いたご意見を踏まえて、QRコードを活用した多言語対応を検討する。</p> <p>また、紙媒体のリーフレットだけではなく、多様な情報発信の方法も検討する。【産業課】</p>
26	<p>■観光はすごく明るくて、わくわくする分野の一つなので、この分野にもっと力を入れるべきだということであれば、少し厳しく評価をして、もっと清須市のことをPRできるように、もうちょっと頑張っても良いのではないかと。</p>	<p>■頂いたご意見を踏まえて、評価の仕組みを通じて、より良い観光振興の展開に努めていく。【産業課】</p>
27	<p>■清洲貝殻山貝塚資料館を活用して、市内中学校の1年生の校外学習を行ってほしい。</p>	<p>■清洲貝殻山貝塚資料館を活用した校外学習は、これまでも主に小学校6年生を対象として行っているところではあるが、頂いたご意見を踏まえて、引き続き活用に努めていく。【学校教育課】</p>
28	<p>■本当に観光に力を入れていただくのであれば、清洲城・清洲貝殻山貝塚資料館・キリンビールなどを迎えに回って、説明も聞ける観光タクシーのようなものを検討してはどうか。</p>	<p>■観光誘客の促進に向けて、市内観光資源へのアクセスの充実は重要であると認識しており、観光タクシーに限らず多様な方法について、費用対効果などの観点から検討する。【企画政策課・産業課】</p>

7 「施策 601 生涯学習の充実」について

No.	委員会での意見	意見に対する考え方【関係所管課】
29	■達成度指標の「生涯学習講座の参加者満足度」について、4段階評価の上二つの合計の割合としているが、大体上から二つ目を選ぶという日本人の傾向もあることから、一番上に絞って達成度を測定しても良いのではないか。	■達成度指標については、第2次総合計画の各施策単位で設定した「目指す姿」にどこまで近づけているかを測るための指標であり、アンケートの回答の上二つなのか、一番上に絞るのか、達成度指標としてはどちらが良いのか今後数値の推移を見ていく中で検討する。【生涯学習課】
30	■達成度指標の「図書館の来館者数」について、これまでの傾向のままであれば前期計画目標値の200,000人の達成は難しいのではないか。 従来のやり方を続けるということも大事だが、大きな目標があるとプラスアルファで大きな仕掛けをやっていかないと達成できないのではないか。	■市立図書館では、地域に根ざしたイベント・講座の開催により来館者の増加を図ってきたところであり、引き続き市民参画型の図書館を目指して取組を進めるとともに、達成度指標の目標値達成に向けて、キリンビール名古屋工場・名古屋芸術大学と連携して平成29年度に開設した「日本一ビールに詳しくなるための図書コーナー」のように、ユニークかつ話題性のある企画の開催を平成30年度以降も引き続き検討する。【生涯学習課】
31	■生涯学習の取り組みについて、働いている世代などの離れていってしまっている層へのアプローチはどのような状況か。	■行政改革推進委員会の中でもお答えしたとおり、図書館の開館時間の延長など、これまでも働いている世代などが生涯学習に関わるための取り組みを行っているところではあるが、引き続き他面的なアプローチの方法を検討する。【生涯学習課】
32	■観光振興などを進める上で、自分が住んでいる地域の事を知らない子どもが多いと感じるので、小学生や中学生が地域の事に関して学ぶことができる場について、所管課が連携してもっと増やしていく必要があるのではないか。	■行政改革推進委員会の中でもお答えしたとおり、サタデーキッズクラブの講座や、小学校での「私のまち探検」などを通じて、これまでも小学生や中学生が地域の事に関して学ぶことができる場づくりを行っているところではあるが、頂いたご意見を踏まえて、庁内で連携を取りながら、引き続き学びの場づくりに努めていく。【生涯学習課（全庁）】
33	■事務事業評価の結果において、「生涯学習推進費」では講座の開催実績が目標を下回っているが、「生涯学習人材バンク」を活用した講師の確保ができなかったことが原因なのか。	■行政改革推進委員会の中でもお答えしたとおり、当初予定した講座に受講者が集まらなかったために開催しなかった場合もあるが、定期的な講座内容の見直しを行う中で、「生涯学習人材バンク」などを活用しながら、多様なメニュー設定や内容の向上に努めていく。【生涯学習課】

8 「施策 704 市民ニーズに応える行政運営の推進」について

No.	委員会での意見	意見に対する考え方【関係所管課】
34	■職員の育成はすごく大事なことで、人やお金といった経営資源を一定程度かけていく必要があるのではないか。 職員の育成に経営資源を残していかないと、組織全体が脆弱化していくと思うので、一定程度の確保をお願いしたい。	■職員は本市の重要な経営資源であると認識しており、第2次総合計画や行財政改革推進プランにおいても人材の有効活用と育成、ひいては組織力の強化を目指しているところではあるが、頂いたご意見を踏まえて、引き続き職員研修の充実や人事評価制度の適正運営などに努めていく。【人事秘書課】
35	■市役所での窓口対応はすごく良いと感じるが、その反面、支所ではあいまいな対応をされることがあるので、連携しながら向上に努めていただきたい。	■頂いたご意見を踏まえて、職員の資質向上とともに市民サービスの向上に努めていく。【人事秘書課（全庁）】